

2019年度 食品栄養科学部 オープンキャンパス

就職活動の現状と大学としての キャリア支援体制

食品栄養科学部 食品生命科学科 教授
大学院 食品栄養環境科学研究院長
食品栄養科学部 就職支援委員長

熊澤 茂則

本日の内容

1. 入学料、授業料、奨学金制度
2. 住居に関する情報
3. キャリア支援・就職活動支援
4. 現在の就職活動スケジュール
5. 大学院の紹介

入学料、授業料

(2019年度)

1. 入学料

静岡県内者 141,000 円

(入学手続き時に**1年以上**静岡に住所を有している者)

静岡県外者 366,600 円

2. 授業料

前期及び後期 各267,900 円

年額合計535,800 円

3. 諸経費 (保険料、後援会費等)

106,730 円 (4年間分)

奨学金制度

日本学生支援機構奨学金（貸与型）

第一種（無利息）

自宅通学の場合 月額20,000円、30,000円、
または45,000円

自宅外通学の場合 月額20,000円、30,000円、
40,000円または51,000円

第二種（利息付）

月額20,000円～120,000円（10,000円刻み）

地元企業等による奨学金（返済義務なし）

月額30,000円～50,000円程度

住居に関する情報

大学近辺の住居情報

6～8畳部屋

月額20,000～40,000円位（バス、トイレ共同）

ワンルーム形式

月額40,000～60,000円位（バス、トイレ付）

敷金、礼金は家賃の2か月分程度が一般的

（注意）

- ・ 本学には、学生寮は無い。
- ・ 2018年4月に常葉大学が草薙に移転し、以前に比べて住居の選択肢は少なくなっているらしい。

キャリア支援体制-1

本学のキャリア・就職支援事業（学生部キャリア支援センター）

1. キャリア形成支援

キャリア形成科目や講演会、セミナーを実施し、学生の自主的な取り組みと連携・支援を図っている。

2. 就職活動支援

- ・ 就職活動の提供

 - 企業からの求人情報の提供

- ・ 就職ガイダンス

 - 就職活動の仕方から試験対策講座まで、各種ガイダンスを開催。

 - 公務員試験の対策講座も開催している。

- ・ 個別相談

 - 応募書類の書き方、面接対策等を実施。

キャリア支援体制-2

食品栄養科学部としてのキャリア・就職支援

1. 学生部キャリア支援センターとの連携

2. 就職活動支援

- ・ 求人情報の収集および提供
- ・ 企業訪問（求人開拓、採用情報の収集）
- ・ 応募書類（エントリーシート）の添削指導
- ・ インターンシップの実施
- ・ 進路情報の把握

学生一人一人の進路希望を調べ、進路状況を常時把握



過去数年間に渡り、就職率は**100%**を達成。

大学としての支援（～3年生12月）

- ・ 就職活動説明会の開催（キャリア支援センターおよび本学部）
就活の流れ、就職実績資料の配布など
- ・ 就職ガイダンス・セミナーの開催（キャリア支援センター）
- ・ インターンシップの実施（キャリア支援センターおよび本学部）

学生が行うべきこと

- ・ 自己分析
どんな仕事をしたいのか、どんな企業に入りたいのか、
どんな人生を歩みたいのか
- ・ 業界（企業）研究
情報を細分化して、自分が望むべく業界（企業）を調べる

一般的な選考の流れ

個別説明会



エントリーシート提出



(筆記試験) SPI



グループ面接



個別面接2~3回



内々定 (4年生4月~)



内定 (4年生10月1日)

就職活動において学生に伝えていること

- ・ キャリア支援センターや指導教員と連絡を取り合う
- ・ エントリーシートは企業へ提出する前に、キャリア支援センターや教員に添削してもらう
- ・ 学内外の企業説明会等に積極的に参加する
- ・ 間違った情報に惑わされないようにする

個人的雑感

- ・ パーソナリティでの勝負に自信がない人は**大学院に進学**して専門性を高めるべき
- ・ 早い段階から自己分析ができている人ほど、早めに内定を得ている

大学院とは

大学院

大学（学部）で学んだ知識や理論を応用して、さらに踏み込んだ学術的な研究を行うところ。

博士前期課程（修士課程） 2年間

博士後期課程（博士課程） 3年間

食品栄養科学部の大学院

薬食生命科学総合学府（薬学と同じ組織）

食品栄養科学専攻

環境科学専攻

大学院進学の特長とデメリット

メリット

- ・ 高い専門性を身に付けることができる。
- ・ プレゼン能力が向上する。
- ・ 就職の選択肢が増える。
- ・ 就職後の給与が高くなる。
- ・ 優秀な成績であれば奨学金の返済免除を受けることもある。

デメリット

- ・ 学費が必要となる。
- ・ 社会に出るのが遅れる。
- ・ 研究が忙しくなり、自由な時間が少なくなる。